

## 平成 19 年度 第 1 回科学計測専門部会 議事録(案)

日時：2007 年 8 月 1 日（水）10：30～17：30

場所：JAMSTEC 東京事務所（10F）セミナー室 A&B

出席者（敬称略）：

科学計測専門部会：斎藤実篤（海洋研究開発機構、部会長）、小田啓邦（産業技術総合研究所）、坂井三郎（海洋研究開発機構）、佐藤 暢（専修大学[孔内計測共同 WG]）、山中寿朗（岡山大学）、木村浩之（静岡大学：書記）

STP 委員：阿波根直一（北海道大学）、池原 実（高知大学）、成瀬元（京都大学）  
布浦拓郎（海洋研究開発機構）

STP Alternate：稲垣史生（海洋研究開発機構）

孔内計測共同 WG 長：中村恭之（東京大学）

非破壊計測共同 WG 長：林為人（海洋研究開発機構[非破壊計測共同 WG 長]）

IO（JAMSTEC/CDEX）：松田繁美、杉原孝充、青池 寛

事務局：堀内一敏、梅津慶太

欠席者（敬称略）

科学計測委員：岩井雅夫（高知大学）、増田幸治（産業技術総合研究所）

STP 委員：岡田誠（茨城大学）、鈴木紀毅（東北大学）、

坂本竜彦（海洋研究開発機構[情報システム WG 長]）、池原研（産業技術総合研究所）、Moe Kyaw Thu（CDEX）

### （1）前回議事録案確認

- ・前回議事録案を承認した。（斎藤）

### （2）IODP/J-DESC 報告

- ・IODP 部会執行部会について、部会長が川端穂高氏に代わり、また委員も約半数が交代した旨、報告があった。さらに、J-DESC の運営の改善について、IODP 乗船者に対する事前トレーニングおよび乗船の際の交通費の支援について検討している旨、報告があった。IODP 成果報告会および日韓合同シンポジウム KJOD2007 についての報告があった。（阿波根・池原）

- ・IODP 乗船者募集、研究支援活動、各種旅費支援、IODP 大学&科学館キャンペーン、Bering Sea 応募について、それぞれ報告があった。(事務局)
- ・New Jersey Shallow Shelf 航海について、今夏の実行が中止になり来年に延期になった旨、報告があった。(阿波根)
- ・SASEC Working Group on SAS について、Panel sizes を日米共に 7 名から 5 名へ縮小する方向で検討している旨、報告があった。(阿波根)

### (3) CDEX 報告

- ・CDEX の近況報告として、「ちきゅう」の掘削結果および今後の予定について報告があった。(松田)
  - 【質問】：掘削深度と掛かった日数に関する情報が欲しい。(佐藤)
  - 【回答】：情報開示可能かどうか問い合わせた上で検討する。(松田)

### (4) WG 報告

- ・孔内計測 WG について WG 規約を変更した旨、報告がなされた。特に、検討項目に泥水検層を加え、孔内検層および泥水検層を 2 本柱としたワーキンググループ活動を遂行する。次回の孔内計測 WG 会議は、11 月以降になる。(佐藤)
- ・非破壊計測 WG について、CEDX により提出された Cookbook のレビューを行った旨、報告があった。(林)
- ・情報システム WG について、ちきゅう VCD スキームのバージョンアップについて議論されたこと旨、報告があった。(成瀬)
- ・古生物 WG について、その趣旨・背景・任務・メンバーについて報告があった。(斎藤)

### (5) 専門部会提言・実行項目のレビュー (STP 関連を除く)

- ・J-DESC コアスクールについて、乗船者技術者支援、若手人材育成、相互交流等の主旨が紹介された。実施体制、会員機関の優遇、当面のスクール実施計画について報告があった。(池原)
- ・泥水溶存ガスモニタリングについて提案書について説明がなされた。(布浦)
  - 【質問】：泥水は循環しておりのでコンタミといった問題はどうなるのか？(佐藤)
- ・クックブックについて、その位置付け、構成、内容についての報告があった。

クックブックは、ちきゅうのラボで実験する人のための実験手順書である旨、説明があった。研究者によってレビューされた後の改善点が報告された。(杉原)

- 2007年5月のクックブックのレビューについての報告があった。さらに、各レビューアーの意見が紹介された。(斎藤)

#### (6) STP 事前打ち合わせ

- 5<sup>th</sup> STP Draft Agendaをレビューした。(斎藤)
- STP Action Item 0612-27: Time stamp for measurements & procedures について確認する必要がある旨、紹介があった。(池原)
- STP Action Item 0612-28: Microbiology WG レポートについてレビューがあった。8月のSTPにて、微生物試料のアーカイブに関するルール の提唱、pressures retaining core の導入、菌株や遺伝子データの寄託、微生物分野のテクニシヤンの確保について、4つの Recommendation が紹介された。(布浦)
- STP Action Item 0612-29: Effects of Riser Drilling on Cores に関する recommendation について意見交換が行われた。特に掘削水からの微生物のコンタミネーションに関する問題点が紹介された。(稲垣)
- STP Action Item 0612-30: Core Description WG の recommendation について意見交換が行われた。(阿波根)
- STP Action Item 0612-31: 微生物研究に関する Legacy Samples の recommendation についての紹介があった。微生物試料の保存について議論した。(布浦)
- STP Action Item 0612-32: Stable Isotope Measurements の recommendation についての報告があった。Los Gatos Research Inc. の炭素安定同位体比測定システムに関する情報提供があった。STPにて炭素安定同位体比測定システムの導入を提案することとした。(布浦・坂井)
- STP Action Item 0612-33: Major element rock analysis problems について紹介があった。XRF の導入についてその経過報告があった。(阿波根・杉原)
- STP Action Item 0612-34: Laser Granulometer についての紹介があった。STPに向けて装置の説明の準備を進めることとした。(成瀬)
- その他のSTP対応事項として、Panelを効率的に活動させる目的で夏のSTP会議と冬のSTP会議で議論する内容にメリハリをつける案があることが紹介さ

れた。STP で議論することとした。(斎藤)

(7) 「ちきゅう」ラボ

- ・「ちきゅう」ラボ改善について、Core Processing Deck の XRFCL、MSCL、XRD の移動、ラボのライトの増設、QA/QC 室のシンクの移動、シンクへのセジメントトラップの設置、微化石の処理区画の増設、フッ酸の使用が可能なドラフトの増設等を実行する旨、報告があった。(青池)
- ・WDS 型 XRF の導入についての説明があり、現在、「ちきゅう」に導入する方向で検討を進めている旨、報告があった。(杉原)

(8) STP・専門部会のメンバーシップと今後の活動について

- ・科学計測専門部会/STP の国内体制についてメンバーの退任および選任案が示され、これを承認した。(斎藤)

(9) 次回開催日程について

- ・次回の開催日程は STP (北京) の 1 ヶ月後、または、次回 STP の 1 ヶ月前を予定している。

平成 19 年度 第 1 回科学計測専門部会 合意事項・実行項目

合意事項 0708-1 : J-DESC コアスクールの枠組みを確立していただいた執行部のご尽力に対し、科学計測専門部会として感謝します。今後も専門部会の任務として、コアスクールの新たなニーズの検討や一部のスクール企画について検討を継続する。

合意事項 0708-2 : 産総研の石塚治さん(岩石学)、九州大の石橋純一郎さん(無機化学)を平成 19 年度下半期からの新専門部会委員として推薦する。

合意事項 0708-3 : 北京STPを最後に岡田STP委員、阿波根STP委員が退任。後任者はそれぞれ小田委員、産総研の石塚治さんを推薦する。(ただし、北京STPで

議論される今後のSTP委員の補充方針を確認するまで推薦手続きは開始しない。)

実行事項 0708-1： 溶存ガスモニタリングに関する科学的ニーズ、計測の実現性と問題点について検討し報告する。実行者：孔内計測WG + 微生物・地球化学関係者。期限：次回専門部会。

実行事項 0708-2： CDEXが提示する泥水の組成について、その科学計測への影響について検討する。実行者：孔内計測WG + 微生物・地球化学関係者。

実行事項 0708-3： 坂井委員が収集した新規炭素同位体比測定システムの情報をClive Nealに送る。実行者：布浦STP委員。期限：北京STP以前。

実行項目 0708-4： 古生物分野と構造・物性系の新専門部会委員候補者を推薦する。実行者：専門部会長+古生物関係者。期限：本年中。

その他（北京STP対応）

- ・ 稲垣STP代理委員とCDEXが調整し、高知コア研の低温試料保存設備について説明する。
- ・ 稲垣STP代理委員が泥水の影響についてプレゼンを用意する。
- ・ 小田STP代理委員が地磁気関連のプレゼンを用意する。
- ・ 成瀬STP委員が粒度分析器に関するプレゼンを用意する。
- ・ 林STP委員が現場応力測定試験についてプレゼンを用意する。

以上